

地球に笑顔 ナチュラリープラス



NEXT100

笑顔のために、地球のために、今、私たちにできること

社会貢献活動レポート 2013



無理なく、続けられる
ナチュラリープラス®
The Global Healthcare Company

はじめに

笑顔のために、地球のために、 今、私たちにできること。

私たちナチュラループラスは、人と人の絆を何よりも大切にし、人の「絆」が原動力となるダイレクトセリングを通して地球全体を健康に導く健康支援企業を目指しています。

かけがえのない地球。そこで暮らす私たちは、みんな同じ「宇宙船地球号」の一員です。人種や国境を越えたひとつの共同体の中で、笑顔のために、地球のために私たちにできること。ひとりでは微力でも、会員の皆さまとの強い絆のチカラを合わせることで社会に役立つ活動の輪が大きくひろがっていく。

NEXT100 地球に笑顔 ナチュラループラス

私たちの社会貢献活動はこのポリシーのもと、「こども支援活動」「盲導犬育成支援活動」「環境保全活動」の3つの社会貢献活動に取り組んでいます。

ヘルスケアカンパニーとして社会と共生しながら成長を続けるためには何が必要かを常に考え、社会貢献活動を通じて世界中の人々が健康で、幸せに包まれる社会の実現を目指します。

そして目の前にある状況だけでなく、先をも見越した息の長い貢献、単なる寄付や物資支援にとどまらない、「参加型」の貢献をよりグローバルに展開し、会員の皆さまとともに取り組んでまいります。



NEXT100 地球に笑顔 ナチュラリープラス

これは新たに制定されたナチュラリープラスの社会貢献活動のスローガンです。

100年後の未来にも社会のために必要とされる企業であり続けることを目指すとともに、思いやりとやさしさに溢れた社会が100年といわず、その先も続くよう、企業としてできることに真摯に取り組んでいこうという強い想いが込められています。

こども基金等を通じて、会員の皆さまからのあたたかな思いやりをいただきながら地球規模でビジネスフィールドを提供する企業として、新しいスローガンのもと、ナチュラリープラスらしいグローバル規模での社会貢献活動を進めています。

ここにお届けする社会貢献活動レポートは、こうしたナチュラリープラスの企業活動のご紹介をさせていただくものです。これからもよりよい社会の実現を目指したナチュラリープラスの社会貢献活動に、何卒ご理解とご協力を賜りたく、今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



株式会社ナチュラリープラス
代表取締役社長

名越 隆昭

社会貢献活動の概要

笑顔あふれる地球のために、私たちができること。
ひとりのチカラは微力でも、
会員の皆さまとチカラを合わせることで
社会に役立つ活動の輪が大きく広がっていく。
笑顔のために、地球のために。
ナチュラループラスの社会貢献は
会員の皆さまとの強い絆のチカラでできています。



NEX100

社会貢献活動
シンボルキャラクター
「なっぴー」

社会貢献活動の概要

こども支援活動

盲導犬育成支援活動

環境保全活動

ナチュラループラスがこれまで取り組んだこと (2013年12月現在)

- サマーキャンプ「**がんばれ共和国**」を通して、
延べ **4,814名** の難病の子どもたちとその家族、ボランティアなどの支援者を支えています。
- 盲導犬育成支援活動で **1,000名** 以上の子どもたちや大人たちに盲導犬の必要性について学ぶ機会を作りました。
- ギニア共和国ボッフア市に学校を建設し、**100名** 以上の子どもたちが**小学校を卒業**しました。
- 育児放棄や虐待などで心に傷を負った子どもたちの夏の遊育事業で **185名** が生命の尊さや**人と人との絆**について学びました。
- 全国各地の海岸、河川、公園の清掃に **2,454名** が参加、**669袋** (90L / 袋) のごみを回収しました。
- 視覚に障がいがある児童・生徒・学生のためのヘレン・ケラー記念音楽コンクールにて **127名** の子どもたちに音楽を通じて夢を与えました。

地球上のすべての子どもたちの笑顔のために

子どもたちの笑顔は地球全体のかけがえのない財産です。

子どもたちの幸せは、地球の幸せです。

でも、病気や家庭の事情、戦争や災害といった不可抗力により笑顔の毎日がかなえられない現状があるとしたら、

いま、私たちにできることは何でしょう。

ナチュラループラスは

子どもたちが笑顔にあふれた毎日を送れる社会の実現を支援しています。



ナチュラループラスこども基金

戦争や災害、原因不明の難病、いじめや虐待などに苦しんだり悩んでいる子どもたちがいます。

私たちは世界中のすべての子どもたちが“笑顔”で過ごせるよう、2008年9月「ナチュラループラスこども基金」を設立いたしました。

「100円」の寄付金が付いた「こども基金商品」による寄付金とナチュラループラスの拠出金を合わせ、子どもたちを支援している各団体へお送りしています。あなたの寄付が子どもたちの笑顔になります。

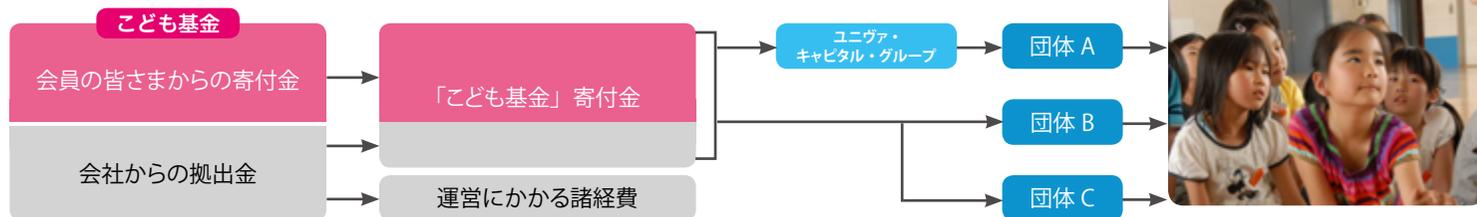


年間20口以上お申し込みいただいた方には、こども基金オリジナルエコバックを進呈いたします。
このオリジナルエコバックは、東日本大震災で被災した宮城県巨理町の子どもが描いた絵を用いて制作したものです。



ナチュラループラス
こども基金

「こども基金」寄付金の流れ



「こども基金商品」のご購入やサロン募金など、会員の皆さまからの寄付金が「こども基金」へ繰り入れられます。会社からも支援金を拠出します。

会員の皆さまからの寄付金は、子どもたちへの支援活動のみを用途としています。「こども基金」運営にかかる経費は、会社拠出金の一部で賄います。

子どもたちを支援している各団体へ寄付金をお送りしています。

“100円の思いやり”が、未来を担う子どもたちのための活動に役立てられます。

Kids Helping Kids

子供地球基金は、1988年日本で創立以来戦争や災害等で心にトラウマを抱える子どもたちと40カ国以上で絵を描くワークショップを行っています。同時に画材や絵本、医療品等の寄贈活動も続け、物心両面からの支援活動を行っています。アートワークショップで描かれた子どもたちの絵や世界中の子どもたちから寄せられる絵はTシャツやカレンダー等のデザインとなり、その収益が世界の子どもたちの為の基金となる、まさに "KIDS HELPING KIDS (子どもたちが子どもたちを救う)" 活動を展開しています。また、子どもたちの絵は各国で高い評価を受け、フランス・ポンピドーセンターやロシア・プーシキンミュージアム等、世界各地で3,000回以上絵画展が開かれています。



特定非営利活動法人 子供地球基金

子どもたちの絵が
子どもたちをサポートしています。



代表
鳥居晴美氏

世界中で病気、戦争、災害等で心に傷を負った子どもたちと絵を描くワークショップを行い表現する事の大切さを伝えていきます。その絵をカードやバックにさせていただき多くのご寄付をいただきました。子どもが描くことで他の子どもたちをサポートし子どもたちの喜びと自信につながっています。絵を描くことで想像力豊かな子どもに育って欲しいと熱望いたしております。



サマーキャンプ “がんばれ共和国” 阿蘇ぼうキャン

難病の子どもたちとご家族が医療スタッフのバックアップのもと、「友だちつくらう」を合言葉に楽しい時間を過ごしました。

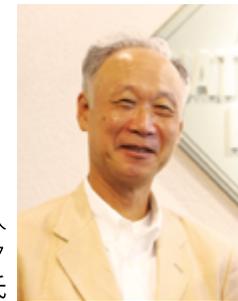
- 開催場所 ホテル「阿蘇いこいの村」(熊本県阿蘇市)
- 開催日 2013年8月23日(金)～25日(日)
- 参加者数 24家族180名
(医療・介護スタッフ、ボランティアの方を含む)



認定 NPO 法人 難病の子ども支援全国ネットワーク

原因が不明、治療法が確立されていないなどの難病や慢性疾患とたたかう20万人以上の子どもたちとその家族を支えています。

子どもたちの“明日を生きる力”を支えています。



認定 NPO 法人
難病の子ども支援全国ネットワーク
会長 小林信秋氏

全国各地で行っている「がんばれ共和国キャンプ」は、希望者が多く「キャンセル待ち」の状態ですが、2013年は全国8カ所で開催できました。深く感謝しております。難病で苦しむ子どもたち、その親、関係者が出会い、さまざまな想いを共有する貴重なひとときです。未永くご支援いただけたらうれしく思います。

VOICE

- 子どもたちの笑顔を見ることができ、参加して良かったです。来年もまた参加したいと思います。(40代男性)
- キャンプへの参加が、家族の大事な年間行事となっています。(30代女性)
- このキャンプは、自然のまままでいられる場所で、仲間と帰ってくる場所でもあり、私たちの元気の源です。(50代女性)

遊びから学ぶ遊育事業 ～子どもたちにゆめを～

京都にある3つの児童福祉施設と1つの母子施設の子どもたちがたくさんの人と出会い、自然の中でのびのびと遊びました。

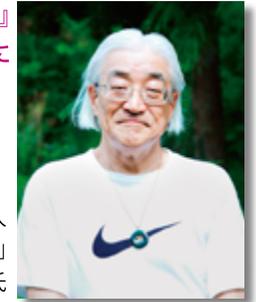
- 開催場所 京都府南丹市美山町
- 開催日 2013年7月27日(土)～28日(日)
- 参加者数 46名(支援者、ボランティアの方を含む)



NPO 法人「子どもの村 Kyoto」

育児放棄や虐待などで心に傷を負った子どもたちやそのご家族へのカウンセリング、児童虐待防止の啓蒙、子育て支援などに取り組んでいます。

傷ついた子どもたちが、『子ども基金』の活動で、将来に希望をもてるようになり、笑顔で未来を見つめています。



NPO 法人
「子どもの村 Kyoto」
山中康裕氏

子どもたちは大自然のなかで遊びながら、生命の尊さや人と人との絆について肌で学んでいきます。心にしっかりと刻まれた思い出は、今後も生きる原動力となるはずです。このようなイベントは未永く継続してこそ意味があります。会員の皆さまとともにこのイベントを継続していただけたらと思います。これからもよろしくお願いいたします。

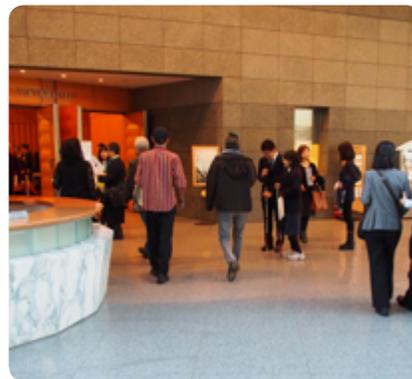
VOICE

- テントで寝るのははじめてだったので、ドキドキしたけど楽しかった。(女の子)
- 時間がかかったけど、みんなでつくったカレーがおいしかった。(男の子)
- ラフティングが一番おもしろかった。みんなで川にとびこんで遊んだのが楽しかった。(男の子)

「第63回ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」特別協賛

国内唯一の盲学生のための伝統ある音楽コンクールであり、世界で活躍する音楽家たちを輩出した「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」。その第63回コンクールをナチュラループラスが特別協賛。レベルの高い演奏に、会場は感動に包まれました。

- 開催場所 東京都文京区 トッパンホール
- 開催日 2013年11月16日(土)
- コンテスト参加者数 65名
- 来場者数 389名



社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会

コンクールから得た自信を生かし
未来に向かってほしい。



社会福祉法人
東京ヘレン・ケラー協会
理事長 三浦拓也氏

「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」は、視覚に障がいがある児童・生徒・学生のための日本で唯一のコンクールです。音楽家の輩出だけが目的ではなく、子どもたちがこのコンクールで得た自信を生かして未来に向かってほしいと願いをこめて開催しています。温かいご支援をありがとうございます。

社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会とは

1948年のヘレン・ケラー女史の2度目の来日時に集まった基金を基に、1950年に設立された視覚障がい者の支援活動に取り組む社会福祉法人です。ヘレン・ケラー学院、点字出版所、点字図書館、盲人用具センターなど、総合的支援を展開。さらに、1949年から盲学生のための音楽コンクール『ヘレン・ケラー記念音楽コンクール』を開催し、国際的に活躍する音楽家を多数輩出しています。





ナチュラリープラス
こども基金

ナチュラリープラスこども基金は、製品購入時にご参加いただける社会貢献活動で、「ナチュラリープラスこども基金運営理事会」が管理・運営しています。毎月運営理事会に活動報告書を提出し、「こども基金」の収支、活動の報告をしています。

理事長 名越隆昭
(株式会社ナチュラリープラス
代表取締役社長)

理事 鈴木隆之(同・常務取締役)
村上秀都(同・取締役)
水野克裕(同・取締役)

「こども基金」社内理事 メッセージ

ナチュラリープラスは、健康食品を中心とした製品のご提供によって、地球全体を健康で笑顔に満ちたものにするために事業活動を営んでいます。

製品をお手にとっていただいた皆さまの健康はもちろん、世界中で製品の生産・販売・物流のための雇用を実現し、事業推進のプロセスによって自己実現を果たす会員の皆さまや従業員をサポートしています。

さらにナチュラリープラスの事業活動から生み出される社会的貢献がよりいっそう大きなものとなるように、ご賛同いただける皆さまのお力を借りながらさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。お力添えいただいている皆さまには、この場を借りまして深く感謝申し上げます。

おかげさまで昨今はナチュラリープラスのみならず世界各国に展開するグループ企業や協力パートナー、ユニヴァ・キャピタルグループとの協業によって、その活動は規模感を増してきております。

活動の中でも特に私たちは地球の未来を担う子どもたちの笑顔を重点的にサポートしていきたいと考えています。世界中の人々の健康を支える画期的な製品を開発して、ナチュラリープラス製品を基点とした健康づくりを世界中でスタンダードにしていく。そして宇宙船地球号の健康を最大化するグローバル企業として社会に貢献する。これがナチュラリープラスの社会貢献ビジョンです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



株式会社ナチュラリープラス取締役
水野克裕

「ナチュラリープラスこども基金」第15期収支報告

前期繰越金残高 (2012/8/31)	¥ 13,416,243	
当期収入	「こども基金商品」寄付金	¥ 7,073,200
	サロン募金箱等	¥ 27,845
	当期収入合計	¥ 7,101,045
当期支出	NPO 法人「子どもの村 Kyoto」	¥ 3,000,000
	ヘレン・ケラー記念音楽コンクール	¥ 3,675,000
	NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワーク	¥ 3,000,000
	諸費用	¥ 896
	当期支出合計	¥ 9,675,896
基金残高	¥ 10,841,392	

(2012年9月1日～2013年8月15日現在)

不安を、安心に変えるために。 喜びを、さらに大きくするために。

「盲導犬と出かけるようになって、今まで以上に外出が楽しみになった」という方がいます。

「大切なパートナーの盲導犬と一緒にいると、ハーネスを通してお互いの気持ちがわかり合える。だから、寂しくありません」

と、そうほほ笑んでくれました。

目が不自由なことで生じるさまざまな不安を、安心に。そして生きる喜びをさらに大きくするために、私たちは盲導犬育成活動を続けてまいります。



私たちは公益財団法人日本盲導犬協会の賛助会員として、盲導犬育成の支援活動、啓発活動を行っています。毎年実施している「日本盲導犬協会セミナー」は盲導犬の必要性や、目の不自由な方々を理解し、学ぶ機会となっています。

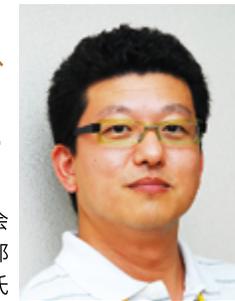
日本盲導犬協会セミナー

全国の各サロンに盲導犬と盲導犬ユーザーをゲストにお迎えし、皆さまに盲導犬に対するご理解を深めていただくセミナーを実施いたしました。

開催日	開催場所	参加人数
2013年7月15日(月)	東京渋谷セミナールーム Ts フラッグ	31名
7月28日(日)	福岡サロン	16名
8月4日(日)	大阪サロン	41名
8月25日(日)	北海道サロン	17名

盲導犬の育成と視覚障がい者の社会参加を推進し、活動を行っています。実際に盲導犬と触れ合えるセミナーや体験会を行うことで、盲導犬の役割、必要性を伝えています。

目の不自由な人たちが
暮らしやすい社会の実現に向けて、
ともに歩んでいただいています。



公益財団法人日本盲導犬協会
神奈川訓練センター普及推進部
飯田篤史氏

1頭の盲導犬の誕生には、多くの人の力と時間が必要です。盲導犬の引退後も多くのユーザーが新しい盲導犬と歩くことを希望されており、新規に希望されている方へ行き渡らないのが現状です。これから盲導犬を希望している方は、約3,000人。我々は1頭でも多くの良質な盲導犬を育成し続けます。

VOICE

- 初めての盲導犬セミナーは面白かった。日常の中でも音声グッズや触って分かる地図があるなど便利になってきたのを感じました。
- 盲導犬が人間の指示をきちんと理解していることがわかり、信頼感を覚えました。以前から興味があったので、とても楽しかったです。

街をキレイにすると、気持ちまでキレイになる。

たとえば、人に癒やしを与えてくれる公園を「ありがとう」の気持ちを込めて清掃する。青々と輝く木々に囲まれて、みんな生き生きとしている。街をキレイにすると、気持ちまでキレイになる。そこに住む人も、街そのものも、きっと笑顔になっていく。私たちは環境保全の視点から、活動の輪を広げています。



100年先まで社会とともに成長する企業を目指す取り組み「NEXT100」の一環として、海岸や公園、道路など自分たちの身近な地域の環境を保護するために、全国各地の会員の皆さまとともに清掃活動に取り組んでいます。



VOICE

- 親子で楽しみながらおそうじをする機会を作っていただき、本当に感謝しています。(20代女性会員)
- メンバーと協力し合い、みるみるうちにキレイになって爽やかな気分です。(40代女性会員)
- 久々の地域ボランティア清掃は楽しくて、時間があっという間に過ぎてしまいました。(50代男性会員)

これまでのおそうじキャラバン

活動歴	開催日	開催場所	参加人数	ゴミの量
第1回	2008年 7月 4日 (金)	静岡県沼津市	230名	約100袋
第2回	2008年 12月 13日 (土)	沖縄県那覇市	401名	約150袋
第3回	2009年 5月 17日 (日)	大阪府大阪市	340名	約46袋
第4回	2009年 6月 27日 (土)	北海道札幌市	192名	約22袋
第5回	2009年 11月 8日 (日)	宮城県松島町	632名	約77袋
第6回	2009年 12月 9日 (水)	香川県高松市	148名	約165袋
第7回	2010年 6月 5日 (土)	東京都大田区	385名	約26袋
第8回	2012年 1月 22日 (日)	沖縄県那覇市	127名	約83袋



世界に広がる笑顔の輪。

 Taiwan

【台湾盲導犬協会への支援活動】

「台湾盲導犬協会」は、「杖以外の選択肢があることを知っていただきたい」との思いから2002年に設立された団体です。ナチュラループラス台湾では、2005年より積極的に支援を続けています。

1) 2013年4月募金活動

台湾盲導犬協会と共同活動で、盲導犬の訓練学校づくりを目的に会員の皆さまのご協力のもと、サロンや町角で募金を実施。

2) 2013年6月～9月

NP盲導犬子どもお絵描きコンテスト

3) 2013年8月盲導犬体験会開催



【地球に優しく環境にキレイにするゴミ拾いイベント】

1) 2013年6月15日

台湾の北海岸で約400名の会員の皆さまおよび社員が総動員で参加し、合計1.1tのゴミを回収しました。

2) 2013年7月21日

台中支店の近辺で約80名の会員の皆さまおよび社員が参加し、合計300kgのゴミを回収しました。



【喜憨兒社會福利基金會への支援活動】

喜憨兒社會福利基金會 (CHILDREN ARE US FOUNDATION) とは、心身に障がいを持った子どもたちが社会に出た時に困らないように、中学生、高校生の時から自立を支援する団体です。2013年から台北サロンにて心身に障がいを持った子どもたちの手作りのお菓子を毎月販売しております。会員の皆さまからも「とてもおいしい」と評判でした。

● サロンで手作りお菓子販売—毎月恒例の2時間のお菓子販売コーナー (台北サロン)



世界に広がる笑顔の輪。

Singapore

シンガポールでは、障がい者ケア施設（Minds）に対する募金活動およびイベント支援活動を行いました。

1) 2013年9月18日 Minds（シンガポールの知的障がい者保護施設）との協同で、合同イベントを実施いたしました。

会員の皆さまおよび社員とともに Minds 入居者20名をシンガポール動物園に招待し、楽しいひと時を過ごしました。

参加者：Minds 入居者 20名 NP 会員 30名、NP スタッフ 14名 Minds スタッフ 4名
Minds 側はもちろん、会員ボランティアの方からも有意義な1日だったとの感想を多数いただきました。

2) 会員の皆さまと共同で、Minds への募金活動を行い、2013年11月10日に実施されたシンガポールサロン5周年イベントにて、Minds へ小切手を贈呈しました。



Malaysia

1)「アガベ子供の家」の子どもたちをサンウェイラグーン遊園地に招待して、チャリティーイベントを開催しました。



2) 不要品リサイクル

社員と会員の皆さまとが協力し、家の中で使わなくなったもの（衣料品や電化製品など）を提供してもらい、チャリティーホームに寄贈しました。



3) 献血チャリティー

8月17日にクアラルンプールサロンにて献血チャリティーを開催しました。サロンに募金箱を設置し、2011年より盲人協会への募金活動を行っています。



社会貢献活動の沿革 ①

- 2000 04・財団法人 日本盲導犬協会への支援活動開始
- 2003 06・日本赤十字社へ寄付金贈呈
09・第11回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
- 2004 10・第1回「盲導犬チャリティ LPGA エバーグリーンゴルフカップ」への協賛
- 2005 07・第2回「盲導犬チャリティ LPGA エバーグリーンゴルフカップ」への協賛
10・第13回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
・NPO 法人バードライフ・アジアへの支援活動開始
・ギニア共和国・ボッファ市への学校建設支援
- 2006 01・ナチュラリープラス 社会貢献ポリシーの発表、参加型支援活動開始
07・財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（大阪、福岡サロン）
・NPO 法人 バードライフ・アジア協働プロジェクト
「ナチュラリープラスの森説明会&自然観察会」開催（東京、北海道サロン）
・財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて
「盲導犬訓練センター子供体験 DAY」開催
・財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（東京、北海道サロン）
09・NPO 法人 バードライフ・アジア協働プロジェクト
『ナチュラリープラスの森説明会&自然観察会』開催（大阪、福岡サロン）
・財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催
・第14回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への協賛
10・第3回「盲導犬チャリティ LPGA エバーグリーンゴルフカップ」への協賛
12・財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（東京、北海道サロン）
- 2007 01・財団法人 日本盲導犬協会およびNPO 法人バードライフ・アジアへ、
会員から寄せられた募金総額（2006年度分）を贈呈
03・財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（大阪、福岡サロン）
04・財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（東京、北海道サロン）
・日本盲導犬総合センター「盲導犬の里 富士ハーネス」見学会開催
05・油山自然観察の森（福岡）、大阪南港野鳥園（大阪）にて「自然観察会」開催

- 06・新宿御苑（東京）にて「自然観察会」開催
08・財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（北海道サロン）
11・ナチュラリープラスの森候補地の決定
・「ナチュラリープラスカップ 第1回視覚障害者ゴルフ大会」への特別協賛

- 2008 02・財団法人 日本盲導犬協会およびNPO 法人バードライフ・アジアへ、
会員から寄せられた募金総額（2007年度分）を贈呈
04・「NEXT100」構想発表
06・ミャンマー・サイクロンおよび中国・四川大地震被災地に義援金送付
・財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（大阪、北海道、福岡サロン）
07・「ナチュラリープラス こども基金」構想発表
・静岡県沼津市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
・岩手・宮城内陸地震被災地に義援金送付
・日本盲導犬総合センター 盲導犬の里 富士ハーネスにて「夏休み親子体験 DAY」開催
08・財団法人 日本盲導犬協会 仙台、神奈川訓練センターにて「夏休み親子体験 DAY」開催
09・「ナチュラリープラス こども基金」開始
・第16回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛
・「ナチュラリープラス こども基金」より、
NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワークへ支援開始
12・沖縄県那覇市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催

- 2009 02・財団法人 日本盲導犬協会およびNPO 法人バードライフ・アジアへ、
会員から寄せられた募金総額（2008年度分）を贈呈
03・理事報告会
04・「ナチュラリープラス こども基金」より、
児童福祉 NPO 法人 子どもの村を設立する会へ支援開始
05・大阪府大阪市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
06・財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（大阪、北海道、福岡サロン）
・「ナチュラリープラス こども基金」より「盲導犬キャラバン」に支援開始
・北海道札幌市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催

社会貢献活動の沿革 ②

- 07・財団法人 日本盲導犬協会 仙台訓練センターにて「夏休み親子体験 DAY」開催
- 08・財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて「夏休み親子体験 DAY」開催
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、児童福祉 NPO 法人 子どもの村を設立する会主催研修「親子で 1 日ほっこりしましょう」を支援
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワーク主催「がんばれ共和国 富士山キャンプ」を支援
- 09・「ナチュラリープラス こども基金」より、児童福祉 NPO 法人 子どもの村を設立する会へ支援開始
- 11・宮城県松島町にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 12・香川県高松市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催

2010

- 01・「ナチュラリープラス こども基金」支援により、2010 年「盲導犬学校キャラバン」開催
- 04・第 3 回理事報告会
- 06・東京都大田区にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 07・財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（大阪、北海道、福岡サロン）
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、児童福祉 NPO 法人 子どもの村を設立する会主催研修「絆・自立の再生村づくり」を支援
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、財団法人 日本盲導犬協会主催の「盲導犬学校キャラバン」支援の締めくくりとして、同協会仙台訓練センター実施の宿泊研修「ワン！ ぱっく子サマースクール in 仙台」を支援

- 08・財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターにて「夏休み親子体験 DAY」開催
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワーク主催「がんばれ共和国 黒潮おさかなキャンプ」を支援
- 09・第 18 回「富士平原盲導犬育成チャリティゴルフ大会」への特別協賛

2011

- 01・社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催 創立 60 周年記念チャリティー「ハッピー 60th コンサート」への特別協賛
- 07・公益財団法人 日本盲導犬協会 島根あさひ訓練センターにて「親子体験 DAY」開催
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、東日本大震災 被災地の子どもたちを、プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス戦」に招待
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、児童福祉 NPO 法人 子どもの村を設立する会主催研修「淡路島宿泊体験学習～絆～」を支援

- ・公益財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（大阪サロン）
- 08・「ナチュラリープラス こども基金」より、認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワーク主催「がんばれ共和国 黒潮おさかなキャンプ」を支援
 - ・東日本大震災被災地に義援金送付
- 09・公益財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（北海道、福岡サロン）

2012

- 01・沖縄県那覇市にて「ナチュラリープラス『NEXT100』おそうじキャラバン」開催
- 08・公益財団法人 日本盲導犬協会セミナー開催（東京、大阪、北海道、福岡サロン）
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、認定 NPO 法人 難病のこども支援全国ネットワーク主催「がんばれ共和国 あしがらキャンプ」を支援
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO 法人「子どもの村 Kyoto」主催 宿泊研修「遊びから学ぶ遊育事業～子どもたちにゆめを～」を支援
- 11・社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催 第 62 回「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」への特別協賛

2013

- 07・公益財団法人 日本盲導犬協会 盲導犬サロンセミナー開催（東京、福岡サロン）
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、NPO 法人「子どもの村 Kyoto」主催の宿泊研修「サマーキャンプ～夏の思い出子どもたちにゆめを～」を支援
- 08・公益財団法人 日本盲導犬協会 盲導犬サロンセミナー開催（大阪、北海道サロン）
 - ・「ナチュラリープラス こども基金」より、認定 NPO 法人「難病のこども支援全国ネットワーク」主催開催される「サマーキャンプ 2013 がんばれ共和国」を支援
- 09・「ナチュラリープラス こども基金」より、特定非営利活動法人「子供地球基金」への支援を開始
- 10・こども基金対象製品を従来の 2 製品から全製品に広げる
 - ・こども基金付き製品ご購入者に「こども基金ポストカード」を進呈
- 11・社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー協会主催 第 63 回「ヘレン・ケラー記念音楽コンクール」に特別協賛
- 12・フィリピン共和国の台風被害に対して義援金送付

株式会社 ナチュラループラス

〒106-6035

東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー 35F

TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011

URL <http://www.naturally-plus.com>

